

# 郷土摂津 いにしえ通信

第88号



平成17年8月1日

発行

摂津市教育委員会 生涯学習部 生涯学習課

〒566-8555 摂津市三島一丁目1-1

TEL(06)6383-1111 (072)638-0007

ホームページアドレス

<http://www.city.settsu.osaka.jp/>



## ふるさとの川「淀川」

～川は流れる悠久の歴史の中で～

人類が出現する以前の原始・古代・  
中近世から現代まで時代別に淀川  
と摂津市の関わりに迫ります。

第5回

**淀川の名称** 川が人間の生活にさまざまな恩恵を与え、そして人間が川を利用していく間に川は人間たちによって呼び名がつけられて、親しまれ記憶されることになりました。

淀川の名称で一番古い記録とされる古事記（712年成立）によれば、鵜河（うがわ）と呼ばれていました。崇神天皇の説話によれば、河内の北部で天皇に反抗した賊の征伐に向かったところ、賊軍はたちまち敗北して逃げまどい、北の大河まで追いたてられました。賊の一部は川に飛び込んで溺れ死んだりしましたが、多くは恐怖で失禁し、尿で袴を汚したといわれています。そこでこの付近をクソバカマの地と呼び、のちにクスバ（久須婆）と訛りました。今の楠葉です。また川にとびこんだ者は、まるで水の中に鵜が浮いているように見えたから、この川を鵜河と呼ぶことになったと語られています。

日本書記の仁徳天皇の条で、淀川のことを北の河と記しています。これに対して大和川を南水と記しています。

万葉集では淀川のことについてほとんど見当たりませんが、巻12に収められている「あらい衣 とりかひ川の 川よどの よどまむ心 おもひかねつも」の一首があります。これは鳥飼（摂津市）周辺で川を望めるところから詠んだもので、この辺ではこの川を取替河と呼んでいました。

平安末期にできた大江匡房の「遊女記」では巨川（おおかわ）と記し、同じ頃に皇円という僧によって編まれた扶桑略記では、山崎川と表記しています。古くは川の呼称に普遍的な一定の名はつけておらず、その地域で土地の呼び名を冠して呼んでいたようです。古今和歌集では淀川と詠まれています。これは山城国の淀のあたりで景色を詠んだ和歌です。江戸時代に入って、難波古図で、山城国から流れてくる川だから山城川とか、また、近江川とか表示されていました。

17世紀後半になって、地誌編纂のブームがあり、この時に編纂された「五畿内志」のうちの「河内志」（享保20年・1735年成立）で淀河と表記され、このころから淀河、淀川と書かれるようになりました。また、訓みが同じであることから、そして流れが悠々としてゆったりよどんでいるという形容から澱川、澱江などと記すこともありました。（松籟社「淀川」より。）



摂津市側から仁和寺大橋を望む



テーマ

「我が町再発見」  
パート2

**となりの街へ出かけませんか！** 府内を8ブロックに分け、各ブロックごとに各自治体が手をつないで公開講座や見学会などの事業を行っています。今年で7年目を迎えます。三島ブロックでは「我が町再発見パート2」と題して、下記の内容で講座を開催します。

**【募集定員】** 100名（各市町20名）・申込み多数の場合は抽選

平成17年11月4日(金)～

**【対象者】** 原則として全5回参加可能な方

12月1日(木)の全5回

とき	テーマ	会場
時間	講師	会場所在地
<b>茨木市</b>		
11月4日(金)	茨木城と城下町の復元について	茨木市立福祉文化会館
14時～15時30分	豊田 裕章 (日本考古学協会会員)	茨木市駅前4-7-55
<b>吹田市</b>		
11月11日(金)	吹田の祭礼	吹田市民会館
14時～15時30分	藤井 裕之 (吹田市立博物館学芸員)	吹田市出口町4-1
<b>島本町</b>		
11月17日(木)	百人一首歌織物の不思議	島本町ふれあいセンターケリヤホール
14時～15時30分	林 直道 (大阪市立大学名誉教授)	島本町桜井3-4-1
<b>高槻市</b>		
11月24日(木)	史料から読み解く高槻城の歴史	集合場所:高槻市立城内公民館 見学場所:高槻市立しろあと歴史館
14時～16時	西本 幸嗣 (高槻市立しろあと歴史館学芸員)	高槻市城内1-1
<b>摂津市</b>		
12月1日(木)	郷土が産んだ漫才の骨董品 「砂川捨丸と江州音頭」	摂津市総合福祉会館 第1会議室
14時～16時	ふるさと摂津案内人	摂津市香露園32-6

**お申し込み方法・お申し込み先** 往復はがきに、住所・氏名(フリガナ)・年齢・電話番号・返信用宛先を明記の上、平成17年10月21日(金)までに摂津市教育委員会生涯学習課へお申し込みください。

(必着、一人一枚に限る)

〒566-8555 摂津市三島1丁目1番1号 摂津市教育委員会 生涯学習課

TEL06(6383)1111・072(638)0007 内線3212・3213 FAX 06(6319)5066

**摂津市予告編** 砂川捨丸は、摂津市新在家出身。小さい時から兄千丸に付いて、江州音頭で全国各地を廻っていました。そして漫才の普及に努め、和製チャップリンの異名をとり、たえず漫才界の第一線にありました。今回は、砂川捨丸の画像、音声、江州音頭の実演などもあり、講座だけでないバラエティに富んだ内容です。

**講師はふるさと摂津案内人** 講座の講師は、ふるさと摂津案内人が務めます。ふるさと摂津案内人は、文化財からふるさとの歴史を学習し後世に伝えていく市民によるボランティアグループです。